

第36回埼玉消化管撮影研究会 開催案内

共催：公益社団法人埼玉県診療放射線技師会

第36回埼玉消化管撮影研究会を下記要領にて開催致します。

今回は厚生労働省医政局より報告された「チーム医療の推進について」の中から、画像診断における読影の補助の取り組みについてスポットを当て、消化管検査における画像診断の補助の現状とこれからについて協議したいと思います。ご多忙とは存じますが多数のご参加をお待ちしています。

記

日 時：平成24年5月20日（日） 受付開始 13：00～
場 所：さいたま赤十字病院 本館5階 講堂
会 費：1000円

プログラム

13：00～ ワンポイント レクチャー
指導員がフィルム評価を行い、アドバイスをを行います。詳細は下部をご覧ください。

13：20～ 平成23年度 事業報告および会計報告 研究会代表世話人 今出 克利

13：30～14：30 シンポジウム 「消化管検査の読影補助への取り組みについて」

司会：さいたま赤十字病院	大森 正司 先生
さいたま赤十字病院	桜庭 歩 先生
所沢市民医療センター	千田 俊秀 先生
レインボークリニック	志田 智樹 先生
石心会 狭山病院	伊藤 寿哉 先生

14：40～15：30 レクチャーコーナー 「消化管検査のレポート作成と実例」
埼玉県立がんセンター 腰塚 慎二 先生

15：40～16：40 症例検討会 症例提供：早期胃がん検診協会 工藤 泰 先生

以上

※事前申し込みは不要です。

※ご来場の際は公共の交通機関をご利用ください。駐車料金は実費での精算となりますのであらかじめご了承ください。

※日本消化器がん検診学会認定 胃がん検診専門技師 取得単位 参加者：2単位（年間）

お問い合わせ：埼玉消化管撮影研究会 代表世話人
さいたま市民医療センター 今出 克利
TEL 048-626-0011（内線：7725）

ワンポイント・レクチャーについて

埼玉放技の認定試験を受けているが、なかなかA評価やB評価が取得できない方、NPO認定試験を受験するのでアドバイスして欲しいなど、消化管画像のワンポイント・レクチャーを開催することに致しました。指導員は埼玉放技A評価者もしくはNPO基準撮影指導員が対応する予定です。受付終了後、先着順にて行いますので、自施設のフィルム（普通胃・横胃など）と撮影装置、バリウム、発泡剤などの情報を必ず控えてお持ち下さい。なお、希望者多数の場合はお断りすることがありますので、あらかじめご了承ください。（今回は5施設程度を予定しています。希望者が多い場合は次回から事前申し込み制にしたいと考えておりますので、ご理解のほどよろしくお願い致します。）

注意：原則としてフィルムで評価を行いますので、画像データの持ち込みはご遠慮下さい。

お問い合わせ：埼玉消化管撮影研究会 代表世話人
さいたま市民医療センター 今出 克利
TEL 048-626-0011（内線：7725）

読影実践トレーニング（胸部編）

主催 公益社団法人埼玉県診療放射線技師会

平成11年より認定講習会として胸部単純、上部消化管を開催してきました。現在ではCTを含め、機器管理から検査法、読影までの内容で3モダリティを開催しております。

私たち診療放射線技師は誰よりも数多くの画像を見ています。そして「臨床的に何かおかしい」「何か変」と異常所見を察知する能力もあります。しかしながら、その異常所見をどのように表現すれば良いか、どこまで所見として指摘するべきなのかが分からない方も多いのが実状です。今回の企画では、分かりやすい症例（昨年認定講習会に使用した症例を含む）を用いて、実際の読影所見の表現方法をトレーニングしていく勉強会です。

座学よりも実践中心の勉強会で、同じ内容を年間3回行う予定です。ご自分の日程に合わせて参加いただければ幸いです。またリピートも大歓迎です。

記

- | | | | |
|-------------|-----------|--------------|-------|
| 19：00～20：00 | 胸部単純読影の実際 | 埼玉県立小児医療センター | 田中 宏 |
| 20：00～21：00 | CT読影の実際 | 済生会川口総合病院 | 富田 博信 |

日程および場所

第1回 6月15日（金） 上尾中央総合病院 看護研修センター



- | | | |
|-----|------|-----------|
| 第2回 | 9月中 | 済生会川口総合病院 |
| 第3回 | 11月中 | 未定 |

参加費：500円
申し込み：不要

問い合わせ先

公益社団法人埼玉県診療放射線技師会
TEL 048-664-2728（9：00～12：00、13：00～15：00）
総務担当 田中 宏 h-tanaka@sart.jp
学術担当 富田博信 h-tomita@sart.jp